

大学共同利用機関シンポジウム2022

科学の時代。 見えてきた未来

2022 10.16 Sun. 9:50 - 16:40

名古屋市科学館  オンライン同時開催

生命館地下2階サイエンスホール

公式サイトにて
事前質問受付中



参加
無料

25の先端研究機関が 未来を語る

参加機関

- 人間文化研究機構 (NIHU) ———— 国立歴史民俗博物館 / 国文学研究資料館 / 国立国語研究所 / 国際日本文化研究センター 総合地球環境学研究所 / 国立民族学博物館
- 自然科学研究機構 (NINS) ———— 国立天文台 / 核融合科学研究所 / 基礎生物学研究所 / 生理学研究所 / 分子科学研究所
- 高エネルギー加速器研究機構 (KEK) ———— 素粒子原子核研究所 / 物質構造科学研究所 / 加速器研究施設 / 共通基盤研究施設
- 情報・システム研究機構 (ROIS) ———— 国立極地研究所 / 国立情報学研究所 / 統計数理研究所 / 国立遺伝学研究所
- 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究所
- 国立大学法人 総合研究大学院大学 (SOKENDAI)

主催：大学共同利用機関協議会、一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス
名古屋市科学館

後援：文部科学省

会場で聴講したい方へ

テーマが異なる二部制(午前の部・午後の部、各テーマは裏面をご覧ください)・入れ替え制にて行います。
午前の部・午後の部のどちらかをお申込みください。お一人のお申込みにつき、同伴者4名までお申込みいただけます。
多数の場合は抽選のうえ、ご登録いただいたメールアドレス宛に9月末までにご連絡いたします。
会場に入るための観覧チケットは主催者側で用意いたします。
プラネタリウムを除く名古屋市科学館展示室をご覧ください。

参加申込はこちら 申込締切日:10月2日(日)

<https://forms.gle/LiRcJ8E4bLXGejn9>



※感染拡大の状況によっては会場での聴講を中止し、オンラインのみとなる場合もございます。あらかじめご了承下さい。

※発熱や咳等の風邪症状の見られる方の来館はお控えください。
発熱の症状のある方は入館をお断りする場合があります。

※ご記入いただいた個人情報は本シンポジウムの実施目的以外には使用いたしません。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から関係の情報をご本人に連絡する場合や、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合がありますのでご了承ください。

オンライン参加される方へ

YouTubeおよびニコニコ生放送でライブ配信いたします。
参加登録不要です。詳細は公式サイトをご覧ください。
<https://www.ims.ac.jp/kikansympo2022/>



大学共同利用機関シンポジウム2022

科学は、長寿や物質的豊かさをもたらす一方、現代が先の見えない混乱した社会となった一因とも言えるだろう。だからこそ未来は、科学について共に語ることで、見えてくる。問い直そう。我々はどこへ行くのか、何者なのか。来るべき世界を、皆で描き、造り出すために。

タイムテーブル

9:50 開会挨拶 田窪 行則(大学共同利用機関協議会 会長/国立国語研究所 所長)

来賓挨拶 池田 貴城(文部科学省研究振興局長)

10:00 - 12:45

どこまで見える? 宇宙科学の未来

宇宙誕生のシナリオから、地球外生命の可能性まで。
太古より夜空に魅入られた私たちは、今どこにいて、どこに行くのか。

10:05 巨大フレアの痕跡が明らかにした巨大噴火の年代 箱崎 真隆(国立歴史民俗博物館 准教授)

10:25 「ひさき」衛星観測から太陽系の惑星探査へ 山崎 敦(宇宙科学研究所 助教)

10:45 見えてきた、太陽系外の惑星の姿～宇宙における生命探査～ 堀 安範(アストロバイオロジーセンター/国立天文台 特任助教)

11:05 天文学とデータ科学 池田 思朗(統計数理研究所 教授)

11:25 ビッグバン宇宙の謎 羽澄 昌史(素粒子原子核研究所 特任教授 / 量子場計測システム国際拠点(QUP) 拠点長)

12:00 講演者5名によるパネルディスカッション

12:45 - 13:45 休憩(各機関紹介動画)

13:45 - 16:30

生き物としてのあなたに、出会ったことはありますか?

原初の細胞から、ネットの向こうまでつながる、この「わたし」とは何か。
そして明日に続く道を誰と、どうやって歩むのか。

13:50 プラズマで紐解く生命の謎 大坪 瑤子(核融合科学研究所/基礎生物学研究所/新分野創成センター 特任助教)

14:10 原子から生物まで - 生命体をどのように理解すればいいの? - 千田 俊哉(物質構造科学研究所 教授)

14:30 デジタルツインに基づく人の経験の拡張 稲邑 哲也(国立情報学研究所 准教授)

14:50 日本人の読み書き能力 1948年調査のナゾに迫る 横山 詔一(国立国語研究所 教授)

15:10 「長い目」で今の世界を見る - 自然人類学から見た現在 - 長谷川 真理子(総合研究大学院大学 学長)

15:45 講演者5名によるパネルディスカッション

16:30 閉会挨拶 渡辺 芳人(大学共同利用機関協議会 副会長/分子科学研究所 所長)

16:40 終了

会場情報・アクセス

■ 名古屋市科学館 生命館地下2階サイエンスホール

■ 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号

■ 地下鉄: 東山線・鶴舞線「伏見」駅4・5番出口から徒歩5分

■ 市バス: 「広小路伏見」下車、徒歩5分

■ 名鉄バス: 「白川公園前」下車、徒歩5分



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM



オンライン参加される方へ

Youtube およびニコニコ生放送にてライブ配信します。
事前申込不要です。

詳細は公式サイトをご覧ください。
<https://www.ims.ac.jp/kikansympo2022/>



ニコニコ生放送



お問合せ 大学共同利用機関協議会 広報ワーキング事務局 (自然科学研究機構岡崎3機関内)

Tel : 0564-55-7125 E-mail: symp2022@orion.ac.jp